



写真の説明

①平沢川緑道橋上広場の《讚太陽》 ②旧美術館の外観 ③旧美術館の常設展示室 ④企画展示の様子 ⑤美術館ワークショップ ⑥美術館コンサート

渋川市美術館の これまでと これから

平成12年に開館して以来、市のまちなかで親しまれてきた渋川市美術館・桑原巨守彫刻美術館が、来春、市役所第二庁舎に移転します。新しい美術館は、「つながりひろがる あおぞら美術館」をコンセプトにして、人と芸術、文化、地域などをつなぐ拠点となることを目指しています。

今回の特集は、これまでの美術館の歩みを振り返りながら、これからの美術館が目指す姿を紹介します。詳しくは、市美術館・桑原巨守彫刻美術館(☎0256-3215)へ。

「芸術の森構想」と桑原巨守

旧渋川市は、昭和61年1月に「芸術の森構想」を策定しました。市全体を「芸術の森」に見立て、市内の公共施設や中心市街地などに野外彫刻を設置し、芸術作品が日常の一部として存在する文化の香り高いまちづくりを推進してきました。

彫刻家・桑原巨守さんとのつながりは、昭和62年から始まりました。桑原さんの自然賛美の作風と、自然環境を守り、自然と共存する市のまちづくり方針が一致したことから、彫刻《讚太陽》を、平沢川緑道橋上広

場に設置しました。続いて、渋川駅前広場に《風と花》、金島ふれあい公園に《麗陽》、マロニエ通りの歩道に7体の作品を設置し、市民の身近な場所で、桑原さんの作品を見られるようになりました。

旧渋川市美術館・桑原巨守彫刻美術館

渋川市美術館・桑原巨守彫刻美術館は、平成12年に「民間施設を活用した銀行店舗と同居する美術館」として、群馬銀行旧渋川支店の中に開設しました。

開設当時は「街中のオアシス、街角美術館」というコンセプトを掲げ、県内初の「彫刻作品を常設展示する公立美術館」として歩み始めました。常設展示は、桑原さんの作品を定期的に入れ替えな

新美術館への移転

開館から20年が経過し、施設の賃貸借契約期間が満了したことに伴って、美術館は、市役所第二庁舎1階の「もみじサロン」ともみじテラスに移転することになりました。

第二庁舎は、中心市街地にあり、JR渋川駅から徒歩圏内です。高速道路のインターチェンジからも近いことから、多くの観光客が立ち寄りやすい場所にあります。また、公民館や保健センターが併設されている複合施設であるため、美術館を訪れることが目的ではなかった人に、美術に触れる機会を提供することができます。

そこで、この度の移転を美術館発展の好機と捉え、「芸術の森構想」の理念や開設当初の特色を継承しつつ、より市民に開かれた、より身近な存在となる美術館とするため、新たなコンセプトによる運営方針を策定し、新しい美術館として運営を開始します。

新しい美術館を一緒に作りませんか
渋川市美術館・桑原巨守彫刻美術館への寄付のお願い

新たな美術館は、来年3月初旬に市役所第二庁舎1階にリニューアルオープンする予定となっています。この美術館の建設と運営のための費用として、皆さんからの寄付を募集しています。

いつでも誰でも芸術とつながることができる、芸術文化活動の拠点となる美術館をつかっていくため、皆さんのご協力をお願いします。

寄付の流れ 寄付申込書を提出いただき、美術館からの案内に従って手続きをお願いします

寄付金額 1口1万円

※12月28日(木)までの受付分のみ「広報しぶかわ」や市ホームページなどで氏名を紹介させていただきます。また、10口以上の寄付をいただいた人は、氏名を記した銘板を館内に掲示いたします

その他 詳細は、市ホームページを確認してください

※市ホームページは、右の2次元コードからアクセスできます

問合せ先 新美術館準備室(〒377-0007・群馬県渋川市石原6-1/☎0279-25-8216)



新美術館のロゴマーク
を作成しました



新美術館のコンセプトを視覚的に伝え、ブランド力を向上させるために、「つながり、ひろがる、あおぞら」をイメージしたロゴマークを作成しました。

ロゴマークのデザインは、新美術館建設の総合監修として意見をいただいている、東京藝術大学名誉教授の池田政治さんにお願ひしました。

『つながり ひろがる
あおぞら美術館』として
新美術館の目指す姿は

新美術館の
コンセプト

新美術館のコンセプトは「つながりひろがるあおぞら美術館」です。
市内全域を垣根のない「あおぞら」に見立て、新美術館がその拠点として、人と芸術、文化、地域などをつなぎ、そのつながりを広げること、皆さんが文化的に、前向きに生きるお手伝いをしたい、という思いが込められています。

新美術館の
役割と使命

「芸術の森構想」により、市内には数多くの屋外彫刻が展示されています。新美術館は、それらの作品群とのつながりを広げ、芸術文化活動の拠点としての役割を担い、市民の誇りとなるような施設を目指します。
また、新美術館の使命は、美術を通して人と人とのつながりを広げ、市民がより文化的に、前向きに生きるための力を呼び起こすこと

新美術館の
施設概要

です。そのために、次のような取り組みを拡充します。
▽市民らが美術に触れ、参加するきっかけとなるワークショップ
▽作家と市民らをつなげる渋川をテーマとした企画展示
▽ジャンルにとらわれない企画や発表など
▽手で触れて作品鑑賞ができる展示

〈常設展示室(桑原巨守彫刻ギャラリー)〉
常設展示室には、桑原巨守さんの彫刻作品を展示します。半屋外の解放感あふれる空間で、光と風を感じながら作品を味わうことができます。
また、市民らが気軽に立ち寄れる憩いの場とするため、常設展示室の観覧料は無料としました。
〈企画展示室(Aギャラリー)〉
元もみじサロンの一角に企画展示室を新設します。

令和6年度「市民ギャラリー」の利用募集を開始します

来春、市役所第二庁舎1階に開館する予定の渋川市美術館・桑原巨守彫刻美術館は、旧美術館同様、企画展示室を市民ギャラリーとして先着順で貸し出します。

日頃の芸術文化活動の発表の場として、ぜひ、新しい展示室を活用してください。

利用期間 水曜日から翌週月曜日を1週間として、最長2週間まで(準備・後片付けを含みます)

利用日程

▷令和6年

- ① 4月3日(水)～8日(月)
- ② 4月10日(水)～15日(月)
- ③ 5月22日(水)～27日(月)
- ④ 5月29日(水)～6月3日(月)
- ⑤ 6月26日(水)～7月1日(月)
- ⑥ 9月4日(水)～9日(月)

- ⑦ 9月11日(水)～16日(月)
- ⑧ 9月18日(水)～23日(月)
- ⑨ 11月20日(水)～25日(月)
- ⑩ 11月27日(水)～12月2日(月)
- ⑪ 12月4日(水)～9日(月)
- ⑫ 12月11日(水)～16日(月)
- ⑬ 12月18日(水)～23日(月)
- ▷令和7年
- ⑭ 2月5日(水)～10日(月)
- ⑮ 2月12日(水)～17日(月)
- ⑯ 2月19日(水)～24日(月)

利用料金

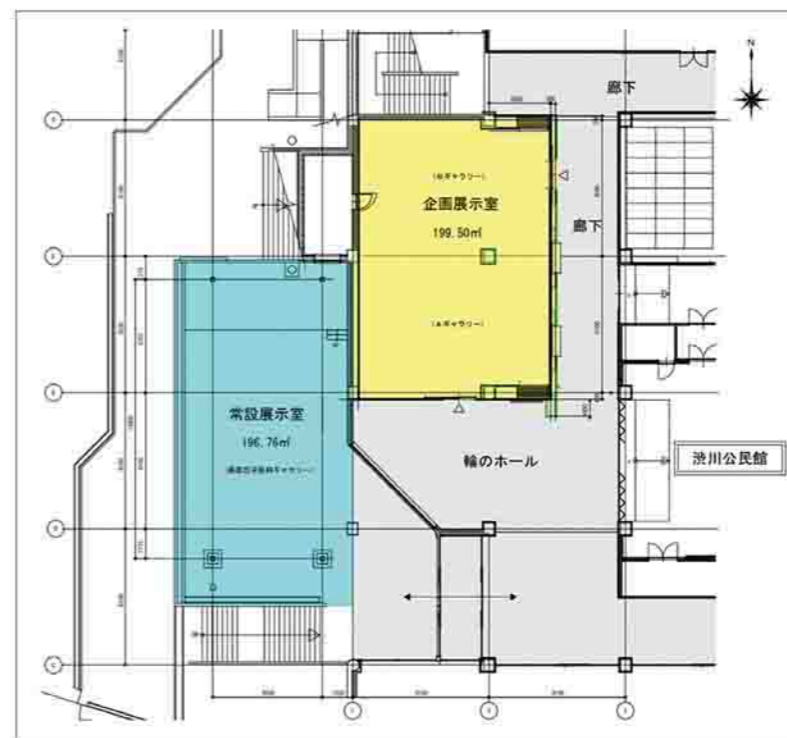
- ▷全室(約200㎡):1週間5万4,000円(1日9,000円)
- ▷Aギャラリー(約100㎡):1週間3万6,000円(1日6,000円)
- ▷Bギャラリー(約100㎡):1週間2万4,000円(1日4,000円)

申込期間 11月1日(水)～12月28日(木)(平日午前9時～午後5時)

【間取り】



※2月から追加募集を行います。詳細は、市ホームページを確認してください
申込方法 電話で新美術館準備室(☎258216)へ



新美術館開館後は、いくつかの開館記念展を行います。幅広い市民らの参加による渋川をテーマにした企画展など、市の良さを感じることができ、事業を検討しています。
企画展示室は、主催事業だけでなく、市民ギャラリーとして貸し出しも行います。可動壁で仕切ることによって2部屋に分けることが可能です。

〈輪のホール〉
企画展示室前のホールでは、窓の外に広がる常設展示室の彫刻作品を眺めながら、市民らが自由に交流することができ、来館者の目を引く大きな輪の意匠がホールの名称の由来となっており、芸術文化活動を通して人と人とのつながりが輪のように広がっていくことを象徴しています。